

参加無料
入退出自由

みんなで考えてみよう！

能登GIAHS 生物多様性に関する 実践ワークショップ

10月16日 木 10:30-16:15

2024年の地震と豪雨を経た能登の自然はいま、どのような姿を見せているのでしょうか。今回のワークショップでは世界農業遺産（GIAHS）に認定されている能登半島を舞台に、研究者や実践者が災害後の環境や生き物の変化を報告します。

基調講演に加え、里山・里川と里海・トキをテーマとした3つのセッションを開催予定。地元高校生の調査やトキ放鳥に向けた最新の取組も紹介されます。能登の未来を共に考えるこの場に、ぜひご参加ください。

会場：能登空港42・43会議室

（輪島市三井町洲衛10部11番1 能登空港ターミナルビル4階）

※参加登録等は不要です。当日現地までお越しください。

※現地開催のみのイベントとなります。

主催：能登地域GIAHS推進協議会 能登GIAHS生物多様性ワーキンググループ
共催：国連大学 サステイナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）
お問合せ メール：h.kobayashi@unu.edu

基調講演 10:35-11:10

- ・「世界と日本の動きから考える能登GIAHSの生物多様性のこれから」 渡辺綱男氏（UNU-IAS OUIK）

セッション① 里山研究・実践 11:10-11:55

- ・「能登半島地震により荒廃した山地の現状と再生への課題」 柳井清治氏（石川県立大学）
- ・「絶滅危惧植物サドクマユリ生育地の震災・豪雨影響と保全の展望」 伊藤浩二氏（岐阜大学）
- ・「自伐型林業が楽しい！～小さな森づくりと大きな森づくりが両立する能登へ～」 山本亮氏（のと復耕ラボ）

昼休み 11:55-13:30

セッション② 里川・里海研究・実践 13:30-14:30

- ・「高校生のネットワークによる環境DNAを用いた河川の魚類相調査」 中村晃規氏・七尾高校生（石川県立七尾高等学校）
- ・「能登の食用海藻と震災の影響」 池森貴彦氏（石川県水産総合センター）
- ・「のと海洋ふれあいセンターの潮間帯動植物調査と普及」 東出幸真氏（のと海洋ふれあいセンター）
- ・「能登半島地震の地盤隆起による川の生物多様性への影響」 荒川裕亮氏（のと海洋ふれあいセンター）

セッション③ トキ関連の取組紹介 14:40-15:40

- ・「世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」視察報告～能登への示唆」 伊藤浩二氏（岐阜大学）
- ・「石川県のトキ放鳥に向けた取り組み」 野上達也氏（石川県自然環境課）
- ・「能登でのトキ野生復帰の課題と可能性：佐渡島でのモニタリング実践の経験から」 上野裕介氏（石川県立大学/NPOいしかわ生物多様性ネットワーク/元・新潟大学）
- ・「珠洲市におけるトキの餌場環境整備の取組み」 宇都宮大輔氏（珠洲市自然共生室）

全体討論・まとめ 15:40-16:10

